

丸山晚霞 (1867-1942)

1867 (慶応 3) 年	信濃國小県郡祢津村 (現長野県東御市祢津) に生まれる。本名健作
1886 (明治19) 年 19歳	当時上田中学の図画教師、望月俊稜に学ぶ
1888 (明治21) 年 21歳	上京、画塾「彰技堂」に入り本多錦吉郎に師事
1889 (明治22) 年 22歳	明治美術会会員となる
1890 (明治23) 年 23歳	菩提寺住職から「晚霞天秀」の居士号を受ける
1895 (明治28) 年 28歳	群馬県沼田付近で写生中の吉田博に出会い影響を受ける
1898 (明治31) 年 31歳	吉田博と「日本アルプス写生旅行」を行う 明治美術会創立10周年記念展に25点出品
1900 (明治33) 年 33歳	満谷国四郎・河合新蔵・鹿子木孟郎とともに渡米 ボストンほかアメリカ各地で先発の吉田博、中川八郎と日本人水彩画6人展開催
1901 (明治34) 年 34歳	アメリカから渡欧。帰国後、明治美術会新会務委員に選任
1902 (明治35) 年 35歳	三宅克己の後任として、小諸義塾図画教師に就任 明治美術会は太平洋画会と改称、創立会員となる 第1回太平洋画会展開催、以後同会には晩年まで出品を続ける
1905 (明治38) 年 38歳	小諸義塾を辞し上京。大下藤次郎らと水彩画講習所開設
1907 (明治40) 年 40歳	洋画講習会を長野各地で開催 水彩画講習所を「日本水彩画会研究所」と改称、教授 日本山岳会会員。第1回文展に出品
1909 (明治42) 年 42歳	絹本に水彩で着彩した作品を「和装水彩」と称する 欧州旅行資金調達のため長野県各地で「千画会」と称した頒布会を行う
1911 (明治44) 年 44歳	第2次ヨーロッパ旅行へ ロンドンを拠点にフランス・スイス・イタリアなど、ヨーロッパ各地を旅行
1912 (明治45) 年 45歳	帰国後、飛騨地方取材。帝国ホテルで＜滞欧記念水彩画展覧会＞開催 滞欧作と飛騨風景を加え250余点展示
1913 (大正 2) 年 46歳	「日本水彩画会」創立、発起者となる 第1回日本水彩画会展に出品。以後、同会には晩年まで出品を続ける
1923 (大正 12) 年 56歳	関東大震災の被災作家救済を目的とした「日本水彩画会救済展覧会」開催のため、 中国、東南アジア、インドを旅行
1936 (昭和 11) 年 69歳	祢津村にアトリエ「羽衣荘」を新築 丸山晚霞、中村清太郎、吉田博、足立源一郎、茨木猪之吉、石井鶴三、石川滋彦、 武井真澄、小島鳥水、小菅徳二らにより「日本山岳画協会」創立
1942 (昭和 17) 年 75歳	3月4日祢津村の自宅で死去。雑司ヶ谷墓地に分骨埋葬される 第29回日本水彩画会展で遺作23点回顧展示 小山周次編『水彩画家丸山晚霞』日本水彩画会刊行



ロンドンにて (一番右端が晚霞)

参考：丸山晚霞記念館パンフレット



生誕150年記念

郷愁の水彩画家

丸山晚霞展

“Water color artist” BANKA Maruyama

2017年

9月3日(日)～10月15日(日)

休館日：月・火曜日 (祝日は開館)

開館時間：午前9:30～午後5:00 (入館は午後4:45まで)

入場料：一般800円 (前売り600円)、高大生300円、中学生以下無料

※65歳以上の方は年齢確認ができるものをご提示いただければ前売り料金となります。
※障害者手帳をご持参の一般の方はご本人と同伴者1名様まで前売り料金となります。

主催：ミウラート・ヴィレッジ (三浦美術館)

協賛：株式会社ミウラ

協力：丸山晚霞記念館

後援：愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、
あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛関連イベント：丸山晚霞記念館学芸員 佐藤聡史氏によるギャラリートーク
2017年9月10日(日)午後1:00～午後2:00

表紙作品：《槍ヶ岳》 制作年不詳 丸山晚霞記念館蔵

生誕150年記念 郷愁の水彩画家

丸山晚霞展

“Water color artist” BANKA Maruyama

関連イベント

丸山晚霞記念館学芸員
佐藤聡史氏によるギャラリートーク

2017年9月10日(日)13:00～14:00

※事前申込不要。入場料のみでご参加いただけます。

次回展覧会

M.コレクション展Ⅷ

2017年10月29日(日)～12月24日(日)



アクセス

◆JR松山駅から市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄/バス北条行き「内宮/バス停」又は「花見橋/バス停」下車 徒歩約15分
◆松山空港から約11km ◆松山I.C.から約16km ◆今治I.C.から約35kmMIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレッジ (三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL089-978-6838 FAX089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>
E-mail:miurart@miuraz.co.jp駐車場：30台と土・日・祝日は臨時駐車場 (三浦工業
福角駐車場約250台) をご利用できます。MIURART VILLAGE
MIURART

丸山晚霞

郷愁の水彩画家

“Water color artist” BANKA Maruyama

このたびミウラート・ヴィレッジでは「生誕150年記念 郷愁の水彩画家 丸山晚霞展」を開催いたします。丸山晚霞は、明治の風景水彩画家の第一人者で、日本における水彩画の発展に大きく貢献しました。また、山岳会(現日本山岳会)へ創立間もなく入会、晩年には日本山岳画協会の創立にも参加するなど、山岳画家としてもその名を知られています。

1867年(慶応3年)、信濃国祢津村(現長野県東御市)に生まれた丸山晚霞は、1888年2度目の上京で、洋画振興の明治美術会の創立に加わった本多錦吉郎の彰技堂に入門、洋画を学びました。帰郷後の1895年、家業の蚕種販売と写生を兼ねて群馬県沼田付近を訪れていた晚霞は、写生中であった、彰技堂と縁のある不同舎門下、吉田博と出会い、彼の精密で写実的な技巧の水彩画に感嘆、意気投合し、互いに影響を受け合う中で水彩画家としての道を歩み始めます。1898年には、2ヶ月にわたり、二人で祢津の晚霞の自宅を起点・終点として、当時は秘境中の秘境であった日本アルプスの写生旅行を敢行しています。

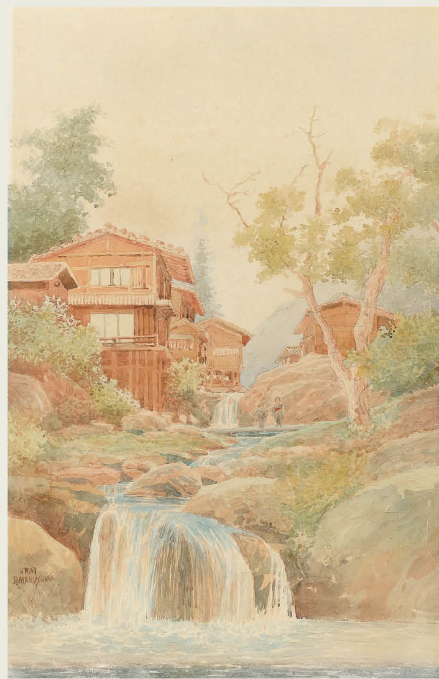
明治初期に来日したイギリス人水彩画家ジョン・パーレイの影響を強く受け、渡米経験もある三宅克己との交友が1899年に始まり海外への関心を高めた晚霞は、1900年、不同舎門下の鹿子木孟郎、満谷国四郎、河合新蔵と共に渡米します。パリ万博に出品していた吉田博、中川八郎(内子町出身)は急ぎ米国に戻って4人と合流、「日本人水彩画家6人展」をボストンで開催します。翌年プロビデンス、ワシントンでも開催、どちらも大成功を収め、晚霞の作品は海外でも高い評価を得ました。

ヨーロッパなどを写生してまわり帰国した晚霞は1902年、明治美術会の後身となる太平洋画会の創立に参加します。その後、水彩画の技法書や水彩画専門誌の発行といった出版活動により水彩画ブームの火付け役となった大下藤次郎らと1905年に水彩画講習所を開設、後に日本水彩画会を設立し、後世の水彩画家の育成に尽力しました。

今展覧会では、水彩画に加え日本アルプス写生旅行時の写生や日本画を含む貴重な作品群を、丸山晚霞記念館はじめ、個人所蔵家の皆様のご協力を得てご紹介いたします。



《春の日》1894年 丸山晚霞記念館寄託



《ARAI》1900年以前 丸山晚霞記念館蔵



《(信州風景)》 1900年以前 丸山晚霞記念館寄託



《紅葉下の溪流》 制作年不詳 丸山晚霞記念館蔵



《拝殿》 制作年不詳 丸山晚霞記念館蔵



《高原の秋草》 制作年不詳 丸山晚霞記念館蔵



《ツェルマツト溪谷からのモンブラン》 1911年 丸山晚霞記念館蔵



《山巔麗花》 1940年 丸山晚霞記念館蔵